

様々な研修のニーズにご対応いたします!

当財団では、新型コロナウイルス感染防止対策や多様化する働き方に応じて、お客様のご要望に合わせた各種セミナー等の実施に取り組んでいます。その一例をご紹介します。

公開セミナー

主に企業・団体内でハラスメント相談担当窓口任命されている方々に向けて、対応スキルを身につけていただく「ハラスメント相談担当者研修」、管理職としての対応や指導のあり方を学ぶ「パワーハラにならない指導法」等のセミナーを実施しています。当財団のホームページ等で開催情報と受講者募集のご案内をしています。

「ハラスメント相談担当者研修ベーシック編」は、新任相談担当者や相談対応の基礎を学びたい方向けに、相談担当者として身につけておくべきスキルを半日で学ぶプログラムです。

カリキュラム

- ① 職場におけるハラスメントの基礎知識
- ② 相談窓口の対応
- ③ 相談対応ロールプレイ

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの開催も始めました。全国どこからでもご参加いただけますので、これまで遠方で参加が叶わなかった皆様からもご好評いただいております。

また、集合型の公開セミナーも東京と大阪で開催しております。通常時の会場定員の1/2程度に受講者数を制限し、受講者間に十分な距離を確保しながら、マスクや当財団が配付するフェイスシールドをご着用いただいた上で実施しています。

オンライン 公開セミナー実施例

ハラスメント相談担当者研修ベーシック編(関西事務所発、2020年7月28日開催)

6月の法改正によってパワーハラスメント防止対策が大企業に義務化された流れを受け各社の対応が加速化される中、新型コロナウイルス感染防止の観点も考慮し、今回初めてオンラインでハラスメント相談担当者研修を実施し、全国から12社21名の皆様にご参加いただきました。

特に「相談対応ロールプレイ」では、オンライン内で3人1組(相談者、相談担当者、観察者)のグループに分かれて様々なハラスメントケースを実践し、講師が各グループを回ってアドバイスを行いました。また全体セッションでは、受講者から、実技を通しての感想や意見が活発に交わされるとともに、講師からは良い点や改善のポイントについて適切なコメントがあり、相談対応の具体的なノウハウを体得していただきました。

参加者からは「相談員が知っておくべきことが凝縮され、オンラインでも想像以上にスムーズだった」とのお声をいただきました。



参加者の声

- 相談対応の心構えについて、不安なところもありましたが、聴き取り時の確認事項として整理いただき、補足説明もあり、大変参考になりました。
- レクチャーで習うのと、実際にロールプレイで実践するのでは違うので、ロールプレイは役立ちました。
- 短い時間ではあったが、ロールプレイを経験することができて、実際の相談のイメージがつかめました。また、相談担当者の心得について文章では読んでいたものの、口頭での補足も受けることができて、大切なポイントがよく理解できました。
- ハラスメントについて改めて学ぶことがなかったので、初歩的なことから聞くことができて勉強になりました。実際にロールプレイをしてみて、他の参加者の対応から学ぶこともたくさんありました。

※今後の開催予定:「(オンライン)ハラスメント相談担当者研修」

ベーシック編 10月27日、12月2日 スキルアップ編 2021年2月19日

「(オンライン)パワーハラにならない指導法」

11月18日

詳細・お申込み <https://www.jiwe.or.jp/seminar/open>

集合型 公開セミナー実施例

ハラスメント相談担当者研修ベーシック編(東京都内会場、2020年7月22日・8月4日開催)

東京都内会場にて実施し、各回15名、16名の方にご参加いただきました。前半は座学形式の講義。6月に法改正となったパワーハラスメント防止対策や各種ハラスメントの最近の動向について学び、相談時における初期段階での対応のポイントや相談担当者としての基礎知識について理解を深めていただきました。

後半は、配付のフェイスシールドを装着して、具体的な事例をもとに3人1組でロールプレイを行いました。相談者・相談担当者・観察者のそれぞれの立場を体験することで、気づきや実践的に役立つスキルを習得していただきました。



参加者の声

- 受講前は3時間は長いかなと思いましたが、説明がわかりやすく、あっという間でした。
- 相談担当をすることになり参加しましたが、役割や相談を受けたとき、どう応じたらいいかをワークで学ぶことができ大変役に立ちました。
- ロールプレイができて良かったです。他者の意見が聞いて参考になりました。

※今後の開催予定:「ハラスメント相談担当者研修ベーシック編」

東京会場 10月21日、11月10日、11月18日、12月22日

「ハラスメント相談担当者研修アドバンス編」基礎をマスターされた方に向けた実技中心の研修です。

大阪会場 10月20日

詳細・お申込み <https://www.jiwe.or.jp/seminar/open>

オーダーメイド研修

「ダイバーシティ推進」「ハラスメントのない職場づくり」に関する各企業のニーズや課題解決に向けたプログラムをご提案し、オーダーメイドの企業内研修を実施しています。

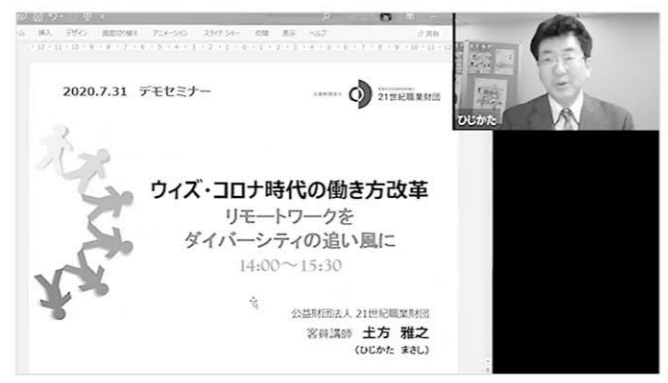
ご要望に応じてオンライン・集合型のどちらも対応可能です。グループディスカッションやケーススタディとの組み合わせ等、多彩な研修スタイルで実施いたします。

オーダーメイド研修の一例をご体験いただける人事・研修企画等ご担当者様向けの無料デモセミナーを定期的に開催しています。今年度からは多くのご要望をいただいておりますオンラインでのデモセミナーも開催しておりますので、オンラインで実施する研修の効果もぜひご体験ください。(デモセミナーでは、ウェブ会議システムZOOMを使用しております。)

オンライン オーダーメイド研修 (デモセミナー) 実施例

ウィズ・コロナ時代の働き方改革～リモートワークをダイバーシティの追い風に～
(2020年7月31日開催、関西事務所発)

コロナ禍により急速に普及したテレワークなど、柔軟な働き方が定着する中で、多様な人材の活躍を促進し、組織の生産性・創造性・働きがいを向上するために必要な働き方改革についてご紹介するデモセミナー「ウィズ・コロナ時代の働き方改革～リモートワークをダイバーシティの追い風に～」を実施しました。オンラインでの開催でしたので、関西圏を中心に全国から18名の人事・ダイバーシティ推進担当者様にご参加いただきました。



参加者の声

- リモートワークを追い風にして、マニュアルを作成し、そこに多様な人材と技術を当てはめることがダイバーシティ推進につながると感じました。
- 改めて、日常の業務を考えることができました。コロナ環境をマイナスに捉えることだけでなく、新たにできることを気づいていければと思います。
- 在宅ワークで見えてきた課題に対する原因が社内の制度の脆弱さにあると考えていましたが、業務マニュアルを改新し、うまく活用することで克服できそうだと感じました。
- ダイバーシティ推進と業務マニュアルを結び付けて考えたことがなかったので、本日の内容は非常に貴重で有意義な機会でした。

※貴社のご状況に応じて最適な研修をご提案いたします。
お気軽にご相談ください。
詳細・お申込み <https://www.jiwe.or.jp/seminar/order>

※デモセミナー開催予定:
決定次第ホームページ上でお知らせいたします。
<https://www.jiwe.or.jp>



DVDデータの活用

当財団では各種ハラスメント防止啓発のためのDVDを販売しています。これらのDVDのデータを活用して、社内イントラ等で視聴可能な動画としてハラスメント対策が可能です。ハラスメント防止対策関連法が施行となった今、各地の事業所やテレワーク中の従業員への防止啓発にもご活用いただけます。



データ活用事例 動画「あっ!それはパワハラです。～事例で学ぶ防止対策～」

企業で起こりうるパワーハラスメントの4事例を通して、職場におけるパワーハラスメントの問題点や、行為者と被害者それぞれの立場での正しい対応策について学べる動画です。(約29分)



利用者の声 第一生命保険株式会社

法改正により、今年6月から職場におけるパワーハラスメント防止のために雇用管理上必要な措置を講ずることが事業主の義務となったことから、早い時期に全社に対して『パワハラ未然防止』を徹底する動画研修を実施したいと考えていました。

動画は具体的な事例も盛り込まれ、現在の会社で十分あり得る内容なので、非常に使いやすいのではないのでしょうか。社内作成パワーポイント資料の中に、このビデオ画像を事例として挿入して動画研修用データを作成しました。社内動画配信システムにアップして、9～10月頃に全役員・社員約54,000人が研修を視聴・受講する予定です。受講後は、社内Eラーニングシステムにて確認テストを実施し、理解度を確認します。(人事部人権啓発室 服部様)

※データ販売対応のサンプル動画を以下URLにて公開しています。
https://www.jiwe.or.jp/harassment/data_info